第1編 土木工事編(積算基準(下水道編)適用工事含む)

1. 月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな 課題となっている。このため、週休2日(4週8休)の普及に向けて月 2回土日完全週休2日制工事を試行する。

(月2回土日完全调休2日制の定義)

- 第2条 工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ 決めた月2回の土曜日(以下、指定土日とする。)を現場閉所日※2と する。
- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との 協議により休日を別の日への振替可能とする。

(対象工事)

- 第3条 土木一式工事、舗装工事(予定価格2千万円以上)、法面処理工事 (予定価格3千万円以上)の案件を対象とする。ただし、以下の案件に ついては対象外とする。なお、積算基準(港湾関係編)を用いて積算す る案件については、第3編港湾等工事編を適用する。
 - ① 契約工期が30日未満の工事
 - ② 現場閉所困難な工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、月2回土日完全週休2日制工事(発注 者指定型)である旨を明示する。また、必要な事項について、特記仕様 書に定める。

(経費の計上)

第5条 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械賃料)、共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するとともに、標準単価については、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒 天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

(工事成績評定における評価)

第6条 指定土日を現場閉所し、かつ、4週8休以上の現場閉所が達成できた場合、工事成績採点表 創意工夫の評価(監督員)における【働き方改革】において加点評価する。

なお、指定土日の現場閉所、4週8休以上の現場閉所の両方または一方 が達成出来なかった場合でも、工事成績評定の減点は行わない。

(その他)

第7条 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」[※]が配付する「週休二日制取組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。 なお、掲示例等詳細については、別途、特記仕様書に定める。

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

附則 この要領は、平成31年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和2年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和3年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和3年10月1日から施行する。

附則 この要領は、令和4年6月1日から施行する。

【別紙1 補正係数】

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04 · 共通仮設費率 : 1. 04 · 現場管理費率 : 1. 06

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

		補正係数		
名称	区分		4週8休以上	
鉄筋工			1.05	
ガス圧接工			1.04	
() () () () () () () () () () () () () (設置		1.02	
インターロッキングブロックエ 	撤去		1.05	
D空 細でル際 マー/ ユピー・ロー)	設置		1.01	
防護柵設置工(ガードレール)	撤去		1.05	
防護柵設置工(ガードバイブ)	設置		1.01	
的設備設直工(ガードハイノ)	撤去		1.05	
D	設置		1.04	
防護柵設置工(横断・転落防止柵)	撤去		1.05	
防護柵設置工 (落石防護柵)			1.02	
防護柵設置工 (落石防止網)			1.03	
道路標識設置工	設置		1.01	
担 群僚滅 以	撤去・移設		1.04	
· 英· 皮· 什· 伊· 杨·· 华· 克· 李	設置		1.02	
道路付属物設置工	撤去		1.05	
法而工			1.02	
吹付枠工			1.03	
鉄筋挿入工 (ロックボルト工)			1.03	
学的标准	植樹		1.05	
道路植栽工	剪定		1.05	
公園植栽工			1.05	
橋梁用伸縮継手装置設置工			1.02	
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工			1.04	
橋面防水工			1.02	
薄層カラー舗装工			1.01	
グルービングエ			1.01	
軟弱地盤処理工			1.02	
コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工)			1.01	

下水道用設計標準歩掛に係る市場単価の補正係数

		補正係数			
名 称	規格・仕様		4週8休以上		
硬質塩化ビニル管設置工			1.03		
リブ付硬質塩化ビニル管設置工			1.03		
砂基礎工	人力施工		1.05		
砂基礎工	機械施工		1.05		
砕 石 基 礎 工	人力施工		1.05		
砕 石 基 礎 工	機械施工		1.05		
組立マンホール設置工			1.05		
小型マンホールエ			1.01		
取付管およびます設置工	ます設置工		1.01		
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工		1.02		

2.「月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)」特記仕様書

1 月2回土日完全週休2日制の定義

工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ決めた月2回の土曜日を現場閉所日※2とする。

- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇 (6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、 「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「そ の他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象 期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

2 受注者は、契約後10日以内に、土曜日を閉所する週を様式1にて、監督員 へ報告すること。

また、あらかじめ決めた土曜日を閉所する週を変更する場合は、事前に監督員に報告すること。

- 3 受注者は、契約当初に工期延長が必要となる場合は、実施工程表(任意様式)を提出し、監督員と協議のうえ、契約書第21条の規定による工期の延長変更を請求することができる。
- 4 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。

5 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械賃料)、共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するとともに、標準単価については、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

【別紙1 補正係数】

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04 · 共通仮設費率 : 1. 04 · 現場管理費率 : 1. 06

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

名称	区分	4:
鉄筋工		
ガス圧接工		
/	設置	
インターロッキングブロックエ	撤去	
z+-a±um-n,ssz	設置	
防護柵設置工(ガードレール)	撤去	
ナ・塩 細でル栗子 (ようしょう)	設置	
方護柵設置工(ガードパイプ) -	撤去	
坊護柵設置工(横断・転落防止柵)	設置	
が政権の (政内)・ 和かの (政内)・ を (政内)・	撤去	
方護柵設置工(落石防護柵)		
方護柵設置工(落石防止網)		
道路標識設置工	設置	
字[17]次(())\$LX [[]]。 本	撤去・移設	
查路付属物設置工	設置	
PFII13 勝726X 値上	撤去	
而工		
?付枠工		
失筋挿入工(ロックボルト工)		
路植栽工	植樹	
2911日	剪定	
N園植栽工		
5梁用伸縮継手装置設置工		
5.梁用埋設型伸縮継手装置設置工		
面防水工		
育層カラー舗装工		
ブルービングエ		
吹弱地盤処理工		
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工)		

下水道用設計標準歩掛に係る市場単価の補正係数

		補正係数			
名 称	規格・仕様		4週8休以上		
硬質塩化ビニル管設置工			1.03		
リブ付硬質塩化ビニル管設置工			1.03		
砂基礎工	人力施工		1.05		
砂基礎工	機械施工		1.05		
砕 石 基 礎 工	人力施工		1.05		
砕 石 基 礎 工	機械施工		1.05		
組立マンホール設置工			1.05		
小型マンホールエ			1.01		
取付管およびます設置工	ます設置工		1.01		
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工		1.02		

6 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」[※]が配付する「週休二日制取組 宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。

【配付先】厚生労働省三重労働局労働基準部監督課、若しくは、三重県建設 業協会本部及び各支部

【掲示の例・サイズ】A 3 横サイズ(297×420mm)

週休二日制取組宣言
建設労働者の「働き方改革」を進めるため 週休二日制に取り組んでいます!
<u>プロドー 口 印打て名</u> フ <u>加工70 </u>
三重県建設業労働時間削減推進協議会 [三重県、三重労働局、三重県建設業協会]

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

様式1

月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)

月2回土日完全週休2日の指定について

以下のいずれかを■にしてください。 月2回、土曜日に現場閉所する週を □「第1、3週」 □「第2、4週」 □ 第□□、□週」 とします。				
	<u>令和</u>	年	月	日
工事名				
<u>会社名</u>				

- ※4週8休かつ指定土日が現場閉所出来ない場合は工事成績点の加点無し。
- ※土日にかかわらず、4週8休の達成が出来ない場合は経費等を減額する。

3.「月2回土日完全週休2日制工事(受注者希望型)」試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな 課題となっている。このため、週休2日(4週8休)の普及に向けて月 2回土日完全週休2日制工事を試行する。

(月2回土日完全週休2日制の定義)

- 第2条 工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ 決めた月2回の土曜日(以下、指定土日とする。)を現場閉所日※2と する。
- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

(本工象位)

- 第3条 すべての案件を対象とする。ただし、以下の案件については対象外とする。なお、積算基準(港湾関係編)を用いて積算する案件については、第3編港湾等工事編を適用する。
 - ① 契約工期が30日未満の工事
 - ② 現場閉所困難な工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、月2回土日完全週休2日制工事(受注者 希望型)である旨を明示する。また、必要な事項について、特記仕様書に 定める。

(経費の計上)

第5条 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械賃料)、共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上する。標準単価については、4週8休以上の設計単価を適用し、当初積算時に計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、現場閉所率に応じて補正係数(別紙1)を乗じた補正分及び標準単価に変更する。4週6休未満(現場閉所日数/対象期間日数=21.4%未満)の場合は補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒 天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

(工事成績評定における評価)

第6条 指定土日を現場閉所し、かつ、4週8休以上の現場閉所が達成できた場合、工事成績採点表 創意工夫の評価(監督員)における【働き方改革】において加点評価する。

なお、指定土日の現場閉所、4週8休以上の現場閉所の両方または一方 が達成出来なかった場合でも、工事成績評定の減点は行わない。

(その他)

第7条 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」※が配付する「週休二日制取 組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。

なお、掲示例等詳細については、別途、特記仕様書に定める。

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年 (2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働 削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労 働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

附則 この要領は、平成31年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和2年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和3年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和3年10月1日から施行する。

附則 この要領は、令和4年6月1日から施行する。

【別紙1 補正係数】

【4週8休以上】

(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04 · 共通仮設費率 : 1. 04 · 現場管理費率 : 1. 06

【4週7休】

(現場閉所日数/対象期間日数=25%以上28.5%未満)

【4週6休】

(現場閉所日数/対象期間日数=21.4%以上25%未満)

· 労務費 : 1. 01 · 機械経費(賃料): 1. 01 · 共通仮設費率 : 1. 02 · 現場管理費率 : 1. 03

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

			補正係数		
名称	区分	4週6休以上、 4週7休未満	4週7休以上、 4週8休未満	4週8休以上	
鉄筋工		1.01	1.03	1.05	
ガス圧接工		1.01	1.02	1.04	
インターロッキングブロックエ	設置	1.00	1.01	1.02	
1/23-1047/0/1091	撤去	1.01	1.03	1.05	
D+®#im®小展界	設置	1.00	1.01	1.01	
防護柵設置工(ガードレール)	撤去	1.01	1.03	1.05	
D+ ○ a	設置	1.00	1.01	1.01	
防護柵設置工(ガードパイプ)	撤去	1.01	1.03	1.05	
D+ D# 100 07, 1999 -	設置	1.01	1.03	1.04	
防護柵設置工(横断・転落防止柵)	撤去	1.01	1.03	1.05	
防護柵設置工(落石防護柵)		1.00	1.01	1.02	
防護柵設置工(落石防止網)		1.01	1.02	1.03	
** Do law the OLER T	設置	1.00	1.01	1.01	
道路標識設置工	撤去・移設	1.01	1.03	1.04	
**************************************	設置	1.00	1.01	1.02	
道路付属物設置工	撤去	1.01	1.03	1.05	
法而工		1.00	1.01	1.02	
吹付枠工		1.01	1.02	1.03	
鉄筋挿入工(ロックボルト工)		1.01	1.02	1.03	
学の体料で	植樹	1.01	1.03	1.05	
道路植栽工	剪定	1.01	1.03	1.05	
公園植栽工		1.01	1.03	1.05	
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.00	1.01	1.02	
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.01	1.02	1.04	
橋而防水工		1.00	1.01	1.02	
薄層カラー舗装工		1.00	1.00	1.01	
グルービングエ		1.00	1.01	1.01	
		1.00	1.01	1.02	
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工)		1.00	1.01	1.01	

下水道用設計標準歩掛に係る市場単価補正の補正係数

		補正係数			
名 称	規格・仕様	4週6休以上、 4週7休未満	4週7休以上、 4週8休未満	4週8休以上	
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03	
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03	
砂基礎工	人力施工	1.01	1.03	1.05	
砂 基 礎 工	機械施工	1.01	1.03	1.05	
砕 石 基 礎 工	人力施工	1.01	1.03	1.05	
砕 石 基 礎 工	機械施工	1.01	1.03	1.05	
組立マンホール設置工		1.01	1.03	1.05	
小型マンホール工		1.00	1.00	1.01	
取付管およびます設置工	ます設置工	1.00	1.01	1.01	
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工	1,00	1.01	1.02	

4.「月2回土日完全週休2日制工事(受注者希望型)」特記仕様書

1 月2回土日完全週休2日制の定義

工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ決めた月2回の土曜日を現場閉所日※2とする。

- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

2 受注者は月2回土日完全週休2日制を実施するか否かについて、契約後 10日以内に様式1にて、監督員へ報告する。また、実施する場合は、土曜日 を閉所する週を様式1に併せて記入し報告すること。

なお、あらかじめ決めた土曜日を閉所する週を変更する場合は、事前に監督 員に報告すること。

- 3 受注者は、契約当初に工期延長が必要となる場合は、実施工程表(任意様式) を提出し、監督員と協議のうえ、契約書第21条の規定による工期の延長変更 を請求することができる。
- 4 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。

5 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上 (現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした 補正係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械 賃料)、共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上する。標準単 価については、4週8休以上の設計単価を適用し、当初積算時に計上す る。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、現場閉所率に応じて補正係数(別紙1)を乗じた補正分及び標準単価に変更する。4週6休未満(現場閉所日数/対象期間日数=21.4%未満)の場合は補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒 天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

【別紙1 補正係数】

【4週8休以上】

(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04 · 共通仮設費率 : 1. 04 · 現場管理費率 : 1. 06

【4週7休】

(現場閉所日数/対象期間日数=25%以上28.5%未満)

· 労務費 : 1. 03 · 機械経費(賃料): 1. 03 · 共通仮設費率 : 1. 03 · 現場管理費率 : 1. 04

【4週6休】

(現場閉所日数/対象期間日数=21.4%以上25%未満)

· 労務費 : 1. 0 1 · 機械経費(賃料): 1. 0 1 · 共通仮設費率 : 1. 0 2 · 現場管理費率 : 1. 0 3

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

1.01				補正係数		
1.01	名称	区分			4週8休以上	
設置	鉄筋工		1.01	1.03	1.05	
接表	ガス圧接工		1.01	1.02	1.04	
勝去 1.01 1.03 1.05 1.05 1.05 1.05 1.01 1.01 1.01 1.01 1.01 1.01 1.01 1.05 1	(\\d\tau_\tau_\tau_\tau_\tau_\tau_\tau_	設置	1.00	1.01	1.02	
游技術設置エ(ガードバイブ)	1/3-194/9/1991	撤去	1.01	1.03	1.05	
換去	Rt-韓価型を関す (ゼード1	設置	1.00	1.01	1.01	
競技術の置工(ボードバイブ)	切 技術 改 直工 (カートレール)	撤去	1.01	1.03	1.05	
数去	Pt-8集価9A曜 T (ゼニじパイプ)	設置	1.00	1.01	1.01	
接機設置工 (横断・転落防止機)	的 設備 改 直 工 (カー ドハイ ク)	撤去	1.01	1.03	1.05	
換去	Pt·维加·2A·曝子 (操成、非一定Pt·L·加)	設置	1.01	1.03	1.04	
1.01 1.02 1.03	的最ʻʻ而改 直上(牧母)· 华公谷的 上伽)	撤去	1.01	1.03	1.05	
設置	防護柵設置工(落石防護柵)		1.00	1.01	1.02	
道路標識設置工 撤去・移設 1.01 1.03 1.04	防護柵設置工(落石防止網)		1.01	1.02	1.03	
撤去・移設)	設置	1.00	1.01	1.01	
遊路付属物設置工 振五工 1.00 1.01 1.02 1.03	型 軒 伝 酸 取	撤去・移設	1.01	1.03	1.04	
接法 1.01 1.03 1.05 1.02 次付枠工 1.01 1.02 1.03 1.05 次付枠工 1.01 1.02 1.03 1.05 1.01 1.02 1.03 1.05 1.01 1.02 1.03 1.05 1.05 1.01 1.02 1.03 1.05 1.05 1.05 1.01 1.03 1.05 1.05 1.05 1.05 1.05 1.05 1.05 1.05	` 坐 助 /	設置	1.00	1.01	1.02	
次付枠工 1.01 1.02 1.03 鉄筋挿入工 (ロックボルト工) 1.01 1.02 1.03 植樹 1.01 1.03 1.05 適路植栽工	坦翰特馬彻設區工	撤去	1.01	1.03	1.05	
鉄筋挿入工(ロックボルト工) 1.01 1.02 1.03	法面工		1.00	1.01	1.02	
横樹 1.01 1.03 1.05 第定 1.01 1.03 1.05 公園植栽工 1.01 1.03 1.05 1.05 1.01 1.03 1.05 1.05 1.01 1.03 1.05 1.05 1.00 1.01 1.02 1.04 1.01 1.02 1.04 1.00 1.01 1.02 1.04 1.00 1.01 1.02 1.04 1.00 1.01 1.02 1.04 1.00 1.01 1.02 1.01 1.02 1.04 1.00 1.01 1.01 1.02 1.01 1.01 1.01 1.01	吹付枠工		1.01	1.02	1.03	
	鉄筋挿入工(ロックボルト工)		1.01	1.02	1.03	
剪定 1.01 1.03 1.05 公園植栽工 1.01 1.03 1.05 橋梁用伸縮継手装置設置工 1.00 1.01 1.02 橋面防水工 1.00 1.01 1.02 薄層カラー舗装工 1.00 1.01 1.01 グルービングエ 1.00 1.01 1.01 軟弱地盤処理工 1.00 1.01 1.02	*************************************	植樹	1.01	1.03	1.05	
橋梁用伸縮継手装置設置工1.001.011.02橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工1.011.021.04橋面防水工1.001.011.02薄層カラー舗装工1.001.001.01グルーピングエ1.001.011.01軟弱地盤処理工1.001.011.02	担 桁但 私 上	剪定	1.01	1.03	1.05	
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工 1.01 1.02 1.04 橋面防水工 1.00 1.01 1.02 薄層カラー舗装工 1.00 1.00 1.01 グルービングエ 1.00 1.01 1.01 軟弱地盤処理工 1.00 1.01 1.02	公園植栽工		1.01	1.03	1.05	
橋面防水工 1.00 1.01 1.02 薄層カラー舗装工 1.00 1.00 1.01 グルービングエ 1.00 1.01 1.01 軟弱地盤処理工 1.00 1.01 1.02	橋梁用伸縮継手装置設置工		1.00	1.01	1.02	
薄層カラー舗装工 1.00 1.01 グルービングエ 1.00 1.01 軟弱地盤処理工 1.00 1.01 1.00 1.01 1.02	橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.01	1.02	1.04	
グルービングエ 1.00 1.01 1.01 軟弱地盤処理工 1.00 1.01 1.02	橋面防水工		1.00	1.01	1.02	
軟弱地盤処理工 1.00 1.01 1.02	薄層カラー舗装工		1.00	1.00	1.01	
	グルービングエ		1.00	1.01	1.01	
コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工) 1.00 1.01 1.01	軟弱地盤処理工		1.00	1.01	1.02	
1955	コンクリート表而処理工(ウォータージェット工)		1.00	1.01	1.01	

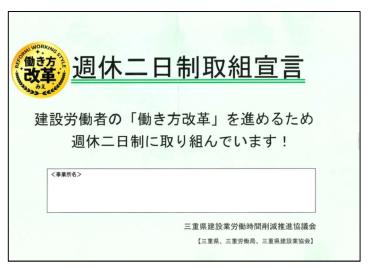
下水道用設計標準歩掛に係る市場単価補正の補正係数

	補正係数			
名 称	規格・仕様	4週6休以上、 4週7休未満	4週7休以上、 4週8休未満	4週8休以上
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03
砂 基 礎 工	人力施工	1.01	1.03	1.05
砂 基 礎 工	機械施工	1.01	1.03	1.05
砕 石 基 礎 工	人力施工	1.01	1.03	1.05
砕 石 基 礎 工	機械施工	1.01	1.03	1.05
組立マンホール設置工		1.01	1.03	1.05
小型マンホールエ		1.00	1.00	1.01
取付管およびます設置工	ます設置工	1.00	1.01	1.01
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工	1, 00	1.01	1.02

6 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」※が配付する「週休二日制取組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。

【配付先】厚生労働省三重労働局労働基準部監督課、若しくは、三重県建設業協 会本部及び各支部

【掲示の例・サイズ】A3横サイズ(297×420mm)



※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

様式1

月2回土日完全週休2日制工事(受注者希望型)

月2回土日完全週休2日の実施について

<u>以下のいずれかを■にしてください。</u>
□:当社は月2回土日完全週休2日を実施します。
月2回、土曜日に現場閉所する週を
□「第1、3週」
□「第2、4週」
□ 第
口: 当社は以下の理由により、月2回土日完全週休2日を実施しません。
(実施しない場合、該当する理由を■にしてください。複数回答可)_
□工程管理が困難となるから(天候不順など不確定な要素を除く)
口天候不順など不確定な要素があることで工程管理が困難となるから
□日給月給制の従業員が多く、月当たりの賃金が低くなるから
□工期が延びることから工事経費が通常の工事より多く必要となるから
口当社の休暇制度と合わないから
口下請業者との調整が困難となるから
口他工事との調整が困難となるから
□その他
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
工事名
会社名
現場代理人

- ※4週8休かつ指定土日が現場閉所出来ない場合は工事成績点の加点無し。
- ※土日にかかわらず、4週8休の達成が出来ない場合は、経費等を達成状況に 応じて変更する。

5.「土日完全週休2日制工事(発注者指定型)」試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな 課題となっている。このため、週休2日(4週8休)の普及に向けて土 日完全週休2日制工事を試行する。

(土日完全週休2日制の定義)

- 第2条 工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、 原則、すべての土曜日及び日曜日を現場閉所日※2とする。
- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇 (6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、 「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「そ の他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象 期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

(対象工事)

- 第3条 発注者が必要とする案件を対象とする。ただし、以下の案件について は対象外とする。なお、積算基準(港湾関係編)を用いて積算する案件 については、第3編港湾等工事編を適用する。
 - ① 契約工期が30日未満の工事
 - ② 現場閉所困難な工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、土日完全週休2日制工事(発注者指定型) である旨を明示する。また、必要な事項について、特記仕様書に定める。

(経費の計上)

第5条 土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上 (現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした 補正係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械 賃料)、共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するととも に、標準単価については、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。 なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒 天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

(工事成績評定における評価)

第6条 土日完全週休2日を実施し、かつ、4週8休以上の現場閉所が達成できた場合、工事成績採点表 創意工夫の評価(監督員)における【働き方改革】において加点評価する。

なお、土日完全週休2日、4週8休以上の現場閉所の両方または一方が 達成出来なかった場合でも、工事成績評定の減点は行わない。

(その他)

第7条 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」※が配付する「週休二日制取 組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。なお、 掲示例等詳細については、別途、特記仕様書に定める。

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

附則 この要領は、平成30年6月1日から施行する。

附則 この要領は、令和2年11月20日から施行する。

附則 この要領は、令和3年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和3年10月1日から施行する。

附則 この要領は、令和4年6月1日から施行する。

【別紙1 補正係数】

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04 · 共通仮設費率 : 1. 04 · 現場管理費率 : 1. 06

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

名称	区分	4週8休以上
鉄筋工		1.05
ガス圧接工		1.04
	設置	1.02
インターロッキングブロックエ	撤去	1.05
	設置	1.01
防護柵設置工(ガードレール)	撤去	1.05
D+-D# HIII *17, 92 → (よ) 1°, 0 / → ()	設置	1.01
防護柵設置工(ガードパイプ)	撤去	1.05
PH-8基4回95-000 一(4単位) 北二女 PH-1、14回)	設置	1.04
防護柵設置工(横断・転落防止柵)	撤去	1.05
防護柵設置工(落石防護柵)		1.02
防護柵設置工(落石防止網)		1.03
道路標識設置工	設置	1.01
是 軒 钦 郎 武 世 上	撤去・移設	1.04
道路付属物設置工	設置	1.02
型 町17 馬 勿	撤去	1.05
法而工		1.02
吹付枠工		1.03
鉄筋挿入工(ロックボルト工)		1.03
道路植栽工	植樹	1.05
AU 바기교 소, 스	剪定	1.05
公園植栽工		1.05
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.04
橋面防水工		1.02
薄層カラー舗装工		1.01
グルービングエ		1.01
軟弱地盤処理工		1.02
コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工)		1.01

下水道用設計標準歩掛に係る市場単価の補正係数

		補正係数	
名 称	規格・仕様		4週8休以上
硬質塩化ビニル管設置工			1.03
リブ付硬質塩化ビニル管設置工			1.03
砂基礎工	人力施工		1.05
砂基礎工	機械施工		1.05
砕 石 基 礎 工	人力施工		1.05
砕 石 基 礎 工	機械施工		1.05
組立マンホール設置工			1.05
小型マンホールエ			1.01
取付管およびます設置工	ます設置工		1.01
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工		1.02

6.「土日完全週休2日制工事(発注者指定型)」特記仕様書

1 土日完全週休2日制の定義

工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原 則、すべての土曜日及び日曜日を現場閉所日※2とする。

- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇 (6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、 「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「そ の他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象 期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

- 2 受注者は、契約当初に工期延長が必要となる場合は、実施工程表(任意様式)を提出し、監督員と協議のうえ、契約書第21条の規定による工期の延長変更を請求することができる。
- 3 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。
- 4 土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上(現場 閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正係数 (別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械賃料)、共通 仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するとともに、標準単価につ いては、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天 (降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

【別紙1 補正係数】

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04 · 共通仮設費率 : 1. 04 · 現場管理費率 : 1. 06

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

12 14		補正係数						
名称	区分		4週8休以上					
鉄筋工			1.05					
ガス圧接工			1.04					
	設置		1.02					
インターロッキングブロックエ 	撤去		1.05					
Pretimentum T (1° 1° 1° 1° 1° 1° 1° 1° 1° 1° 1° 1° 1° 1	設置		1.01					
防護柵設置工(ガードレール)	撤去		1.05					
D+etimen.₩ + / +* * - 0 / − ℓ \	設置		1.01					
防護柵設置工(ガードバイブ)	撤去		1.05					
Destruction was - / Att size - 4- True 1 Inn	設置		1.04					
防護柵設置工(横断・転落防止柵)	撤去		1.05					
防護柵設置工(落石防護柵)			1.02					
防護柵設置工(落石防止網)			1.03					
** 江及·福州州·邓、平平	設置		1.01					
道路標識設置工	撤去・移設		1.04					
文16 / 16 Main 19 20 一	設置		1.02					
道路付属物設置工	撤去		1.05					
法而工			1.02					
吹付枠工			1.03					
鉄筋挿入工 (ロックボルト工)			1.03					
- At 14 M V	植樹		1.05					
道路植栽工	剪定		1.05					
公園植栽工			1.05					
橋梁用伸縮継手装置設置工			1.02					
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工			1.04					
橋面防水工			1.02					
薄層カラー舗装工			1.01					
グルービングエ			1.01					
軟弱地盤処理工			1.02					
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工)			1.01					

下水道用設計標準歩掛に係る市場単価の補正係数

		補正係数	
名 称	規格・仕様		4週8休以上
硬質塩化ビニル管設置工			1.03
リブ付硬質塩化ビニル管設置工			1.03
砂基礎工	人力施工		1.05
砂基礎工	機械施工		1.05
砕 石 基 礎 工	人力施工		1.05
砕 石 基 礎 工	機械施工		1.05
組立マンホール設置工			1.05
小型マンホールエ			1.01
取付管およびます設置工	ます設置工		1.01
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工		1.02

5 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」※が配付する「週休二日制取組 宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。

【配付先】厚生労働省三重労働局労働基準部監督課、若しくは、三重県建設 業協会本部及び各支部

【掲示の例・サイズ】A3横サイズ(297×420mm)

過休二日制取組宣言	
受 設労働者の「働き方改革」を進めるため 週休二日制に取り組んでいます!	
(事業所名>	
三重県建設業労働時間削減推進協議会	
	設労働者の「働き方改革」を進めるため 週休二日制に取り組んでいます!

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

【参考】経費補正の考え方

	計画	4			天 閉所日		計画 閉所日	対象日	/	令和4年9月		閉所日	実績対象日	計画 閉所日	# 9 日	//	令和4年8月		実績閉所日		計画対象日	 /		令和4年7月	主地	美額 閉所日		計画 閉所日	対象日	/	令和4年6月	上樂	Н	н	週休2日制工事
21/71 7. 14. 12. 12.	森日本生地閣	対象予定日数	計画 の 暴 級		Ш	0 0		0 -	+ + - +			Ш	0))	月 1 % 2	毎月第		Ш	П О	0	金	1 2	毎月第		Ш	Ш	Ш		· · · · · · · · · · · · · ·	毎月第	事開始日	期	工事名	確認表
-		83		推定	•	0 0 0	•	0	+ C H	4		ŀ	0 0	_) :	* 3 * 4 * 5	2 · 4 ±	冲 益	•	-	• 0 0 0	日 月 火	4	2 · 4 ±						分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分<	4	令和4年6月9日	令和4年6月9日		
790 PG						0		0 :	× 0	- 66	用当	· 市	_	0 (O I	+ 6 7	土曜日			0	0	⅓	6 7	上 冊 日						月 6 7	麗田		19E		
	機田利盟	《光光形形》 対象日数	外間契約再の展現	治 流		〇 〇 他		0 1	* ° 4 * ° 4 + L	>		ļ	0	()	用 8 ※ 9 ※ 10		定 指	•	_	• 0 • 0	+	8 9 10		整 選		華	\rightarrow	#	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		完成報告提出日	`		
-		L	3 報 場	指版	•	0	•	0 :	H L	:			夏夏		터 : 터 i	大 11 12				0	0	月火	11 12				華 華		#	± 11 12		令和4	令和4年		
32.1%	25	78				〇 片 片		0	½ 5	:	用当	_	0	• () 1	13 14 15 + H H				0	0	* 金	13 14 15				華 華		H H	13 14 15		令和4年9月19日	令和4年9月21日		
4週6休	4週7休	4週8休	(株米) 陰豐華 計画			片 片 片		갸 !	+ 1/ 18	1			0	-) ÷	16 17 18		冲 輩	•	\rightarrow	• 0 • 0	ш	16 17 18				華 華		拼	16 17 18 木 金 土					
21.4%以上	25.0%以ト	28.5%以上	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	乐点		圩		두 두	± 20	3	73	+ •	0	()))	19 20 ++				0	0	火水	19 20 21				華		半	19 20 :			現場代理人	請負業者名	
21.4%以上25.0%未満	25.0%以上28.5%未満								± 22	3	用当	市	0	())	22 23 用 **		冲 猫	•	_	• 0	金十	22 23			•	0		0	* 22 * 23					
									月 ²⁴	2			6 0	() ÷	24 25 26 水 木 余		冲描	•	0	• 0 0	Э	24 25 26		油 运	•	_	•	0 1	24 25 26 金 土 日				-	
4週8休を		別所指定:	小子(藤)						* C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	2	附出	_	0) I	27 28 29 + H H			•	0	0	*	27 28 29				0		0 :	27 28					
達成		別所指定土日がすべて閉所	小井(修林) 群の撮影						H 30				0	()	9 30 31 * *		冲 輩		0	0	Н Н	30 31				0	_	_	· * 29 * 30					0
0	T	別所			4	12 33 31	4 28.6%	14	日数 閉所率			00	27 29.6%	8 28.6%	28	日数 閉所率			10 34.5%	_	31 9 29.0%	日数 閉所率	F			3 30.0%	10	3 30.0%	10	日数 閉所率		0			
		※指定日を振替て閉所している場合を含む		指定 < 現場閉所指定日、振替 < 指定日の振替日 開始 < 工事開始日、完成 < 完成報告書提出日	"他←その他、受注者の責によらない作業、●←閉所日	事←工事事故等による不稼働期	製←工場製作期間、○←対象期間	準 ← 準備期間、片 ← 後片 付期間、夏 ← 夏休み期間、年 ← 年末年始休み期間、	率 備老		用ルトルル1970円はより、仮首ト日よりの仮首り開始《工事開始日、完成《完成報告書提出日	おり ためは、女子也の単さその		製作用場製作期間、〇个対象期間	進令進備期間、片令後片付期間、厚全原体み期間、年令年末年始休み期間	瘤 考		指定 < 現場閉所指定日、振替《指定日の振替日 開始 < 工事開始日、完成 < 完成報告書提出日		事←工事事故等による不稼働期間、災←天災に対する突発的な対応機関、	準<準備期間、片<後片付期間、夏<夏休み期間、年<年末年始休み期間製工場製作期間、○<対象期間、●のがががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが が が<				指定◆現場閉所指定日、振替◆指定日の振替日 開始◆工事開始日、完成◆完成報告書提出日		事々工事事故等による不稼働期間、災々天災に対する突発的な対応機関。	製←工場製作期間、○←対象期間	準←準備期間、片←後片付期間、夏←夏休み期間、年←年末年始休み期間、	/		月二回土日完全週休二日制工事(受注者希望型)	月二回土日完全週休二日制工事(発注者指定型)	土日完全週休二日制(発注者指定型)	「まんなかホリデー」を推進しています。 (中部地方整備局管内の全ての工事を対象に毎月第2土曜日を一斉休工日とする取

事務連絡
令和3年7月30日

各所属長 地域発注機関の長 あて

> 公共事業運営課長 技術管理課長

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上について(通知)

工事の週休2日の取得に要する費用の計上については、「週休2日制試行要領」により、 労務費、機械経費(賃料)及び間接工事費に乗じる補正係数を設定しているところですが、 市場単価方式については、補正の対象外としていたところです。

今回、市場単価方式により積算する費用についても経費補正の対象とするため通知します。

記

1. 適用

本通知は、令和3年3月1日以降に公告した工事から適用します。

2. 積算方法

市場単価の補正にあたっては、要領に定める工種において、現場の閉所状況に応じて、別紙に示す補正係数を乗じるものとし、新積算システムから対応可能です。

なお、現システム (CYDEEN) による積算については、「週休2日制工事の積算システム (CYDEEN) 入力方法について」を参照し、対応願います。

以上

事務担当

- ○週休2日制の取組・要領について公共事業運営課 公共事業運営班 髙山、<u>吉村</u>電話 059-224-2915
- ○積算方法に関する問い合わせ 技術管理課 情報化班 世古口、濱口 電話 059-224-2208

別紙

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

		補正係数							
名称	区分	4週6休以上、 4週7休未満	4週7休以上、 4週8休未満	4週8休以上					
鉄筋工		1.01	1.03	1.05					
ガス圧接工		1.01	1.02	1.04					
インターロッキングブロックエ	設置	1.00	1.01	1.02					
1/29-094/9/199/1	撤去	1.01	1.03	1.05					
防護柵設置工(ガードレール)	設置	1.00	1.01	1.01					
の 波 側 改 直 工 (撤去	1.01	1.03	1.05					
防護柵設置工(ガードパイプ)	設置	1.00	1.01	1.01					
別談側は2001年(カードハイフ)	撤去	1.01	1.03	1.05					
防護柵設置工(横断・転落防止柵)	設置	1.01	1.03	1.04					
的護備設	撤去	1.01	1.03	1.05					
防護柵設置工(落石防護柵)		1.00	1.01	1.02					
防護柵設置工 (落石防止網)		1.01	1.02	1.03					
道路標識設置工	設置	1.00	1.01	1.01					
是 时行宗政(文 區 上	撤去・移設	1.01	1.03	1.04					
道路付属物設置工	設置	1.00	1.01	1.02					
担知为属权 应直上	撤去	1.01	1.03	1.05					
法面工		1.00	1.01	1.02					
吹付枠工		1.01	1.02	1.03					
鉄筋挿入工(ロックボルト工)		1.01	1.02	1.03					
道路植栽工	植樹	1.01	1.03	1.05					
坦 斯但 双 上	剪定	1.01	1.03	1.05					
公園植栽工		1.01	1.03	1.05					
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.00	1.01	1.02					
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.01	1.02	1.04					
橋面防水工		1.00	1.01	1.02					
薄層カラー舗装工		1.00	1.00	1.01					
グルービングエ		1.00	1.01	1.01					
軟弱地盤処理工		1.00	1.01	1.02					
コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工)		1.00	1.01	1.01					

下水道用設計標準歩掛に係る市場単価の補正係数

			補正係数	
名 称	規格・仕様	4週6休以上、 4週7休未満	4週7休以上、 4週8休未満	4週8休以上
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03
砂基礎工	人力施工	1.01	1.03	1.05
砂 基 礎 工	機械施工	1.01	1.03	1.05
砕 石 基 礎 工	人力施工	1.01	1.03	1.05
砕 石 基 礎 工	機械施工	1.01	1.03	1.05
組立マンホール設置工		1.01	1.03	1.05
小型マンホールエ		1.00	1.00	1.01
取付管およびます設置工	ます設置工	1.00	1.01	1.01
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工	1.00	1.01	1.02

第2編 公共建築工事積算基準適用工事編

1. 月2回土日完全週休2日制工事(受注者希望型)試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな 課題となっている。このため、週休2日(4週8休)の普及に向けて月2 回土日完全週休2日制工事を試行する。

(月2回土日完全週休2日制の定義)

- 第2条 工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ決めた月2回の土曜日(以下、指定土日とする。)を現場閉所日※2とする。
- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、 現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

(対象工事)

- 第3条 すべての案件を対象とする。ただし、以下の案件については対象外と する。
 - ①契約工期が30日未満の工事
 - ②現場閉所が困難な工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、月2回土日完全週休2日制工事(受注 者希望型)である旨を明示する。また、必要な事項について、特記仕様書 に定める。

(経費の計上)

第5条 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正係数(別紙1)を乗じた労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、現場閉所率に応じて補正係数(別紙1)を乗じた補正分に変更する。4週6休未満(現場閉所日数/対象期間日数=21.4%未満)の場合は補正分を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

(アンケートの送付)

第6条 試行工事の検証を行うため、受注者より提出されたアンケートは工事 完成次第営繕課に送付する。

(工事成績評定における評価)

第7条 指定土日を現場閉所し、かつ、4週8休以上の現場閉所が達成できた場合、工事成績採点表 創意工夫の評価(監督員)における【働き方改革】において加点評価する。

なお、指定土日の現場閉所、4週8休以上の現場閉所の両方または一方 が達成出来なかった場合でも、工事成績評定の減点は行わない。

(その他)

第8条 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」*が配付する「週休二日制取 組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。なお、 掲示例等詳細については、別途、特記仕様書に定める。

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年 (2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削 減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省 三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

附則 この要領は、令和3年4月1日から施行する。 附則 この要領は、令和4年6月1日から施行する。

別紙1「補正係数」(公共建築工事積算基準を適用する工事の場合)

【4週8休以上】

(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)

· 労務費 : 1. 05

【4週7休】

(現場閉所日数/対象期間日数=25%以上28.5%未満)

· 労務費 : 1. 03

【4週6休】

(現場閉所日数/対象期間日数=21.4%以上25%未満)

· 労務費 : 1. 0 1

積算方法等の運用(公共建築工事積算基準適用の場合)

「試行要領」により費用計上する場合の積算方法等は、以下による。

(1) 複合単価

複合単価の労務単価は、公共工事等設計単価表(三重県)の労務単価に 以下の補正係数を乗じて補正する。

- ア 4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)
 - ·補正係数: 1. 05
- イ 4週7休(現場閉所日数/対象期間日数=25% 以上28.5%未満)
 - ·補正係数: 1. 03
- ウ 4週6休(現場閉所日数/対象期間日数=21.4%以上25%未満)
 - ·補正係数: 1. 01

なお、交通誘導警備員の労務単価についても同様に補正する。

(2) 市場単価、補正市場単価及び物価資料の掲載価格

市場単価と補正市場単価は、公共建築工事積算基準等資料第4編第 1章6の表A-1、表E-1及び表M-1に代えて、(1)ア、イ及びウ の補正係数を用いて算出した以下の表A-2、表E-2及び表M-2の補 正率及び以下の式により基準単価及び基準補正単価を算出する。

なお、「基準単価」及び「基準補正単価」とは、公共建築工事積算基準 等資料第4編第1章8(3)による。

【新営工事の場合】

市場単価及び補正市場単価 × 新営補正率

【全館無人改修の場合(基準単価の算定)】 市場単価及び補正市場単価 × 新営補正率

【執務並行改修の場合(基準補正単価の算定)】 市場単価及び補正市場単価 × 改修補正率 物価資料の掲載価格(市場単価以外の材工単価)を採用する場合は、掲載価格を以下の表の補正率を用いた以下の式により補正する。

【新営工事の場合】

物価資料の掲載価格 × 新営補正率

【全館無人改修、執務並行改修の場合】 物価資料の掲載価格 × 改修補正率

表A-2建築工事の補正率

※「市場単価」: 市場単価及び補正市場単価、「物価資料」: 物価資料の掲載 価格の補正率を示す。

なお、記載が無い項目は市場単価、補正市場単価及び物価資料の掲載価格に共通の補正率を示す。

俗に共通の作		4週8休以上		4週7休		4週6休	
┃ 工種 ┃ ┃	摘 要※	新営 補正率	改修 補正率	新営 補正率	改修 補正率	新営 補正率	改修 補正率
仮設工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01
土工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01
地業工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01
鉄筋工事		1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01
コンクリートエ 事		1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01
型枠工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01
鉄骨工事		1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01
既製コンクリー ト		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01
防水工事	市場単価	1.02	1.09	1.01	1.08	1.01	1.07
防水工事(シーリン が)	市場単価	1.04	1.17	1.02	1.15	1.01	1.14
防水工事	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01
石工事		1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01
タイル工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01
木工事		1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01
屋根及びとい		1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01
金属工事	市場単価	1.02	1.11	1.01	1.10	1.01	1.09
金属工事	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01
左官工事 (仕上塗材仕上)	市場単価	1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01
左官工事 (仕上塗材仕上以 外)	市場単価	1.04	1.18	1.02	1.16	1.01	1.15
左官工事	物価資料	1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01
建具 (ガラス)	市場単価	1.02	1.12	1.01	1.11	1.01	1.10
建具(シーリング)	市場単価	1.04	1.19	1.02	1.17	1.01	1.15
建具	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01
塗装工事	市場単価	1.04	1.18	1.02	1.16	1.01	1.14
塗装工事	物価資料	1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01
内外装工事	市場単価	1.03	1.15	1.02	1.13	1.01	1.12
内外装工事 (ビニル系床材)	市場単価	1.02	1.10	1.01	1.09	1.01	1.08

内外装工事	物価資料	1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01
内外装工事 (ピニル系床材)	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01
ユニットその他		1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01
排水工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01
舗装工事		1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01
植栽及び屋上緑 化		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01

表E一2電気設備工事の補正率

		4週8	休以上	4週7休		4週6休	
工種	摘 要	新営 補正率	改修 補正率	新営 補正率	改修 補正率	新営 補正率	改修 補正率
	電線管、2 種金属線の及び同ボックス	1.04	1.22	1.02	1.20	1.01	1.18
	ケーフ゛ルラック	1.03	1.17	1.02	1.16	1.01	1.15
	位置ボックス及び 位置ボックス用ボン ディング	1.03	1.21	1.02	1.19	1.01	1.18
	プルボックス	1.02	1.15	1.01	1.14	1.01	1.13
配管工事	プルボックス用接地 端子	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	防火区画貫通処理 ・ケーブ・ルラック用 (壁・床)	1.03	1.16	1.02	1.15	1.01	1.14
	防火区画貫通処 理 金属管·丸型 用	1.01	1.06	1.01	1.05	1.01	1.05
	(電動機その他 接続材工事) 金属製可とう電 線管	1.03	1.17	1.02	1.16	1.01	1.15
配線工事	600V 絶縁電線 及び 600V 絶縁ケーブル	1.03	1.20	1.02	1.18	1.01	1.17
接地工事	(接地極工事) 銅板式、銅覆鋼棒、接地極埋設票(金属製)	1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01

表M-2機械設備工事の補正率

工種	摘要	4週8	休以上	4週7休		4週6休	
		新営補正率	改修 補正率	新営 補正率	改修 補正率	新営補正率	改修 補正率
保温工事	配管用、ダクト用 及び消音内貼	1.03	1.18	1.02	1.16	1.01	1.15
ダクト設備	低圧ダクト、排煙ダ クト及び低圧チャンバー 類	1.03	1.18	1.02	1.16	1.01	1.15
ダクト付属 品	既製品ボックス、制気口、ダンパー等の取付手間のみ	1.04	1.25	1.02	1.23	1.01	1.21
衛 生 器 具 設備(ユ ニットを除 く)	取付手間のみ	1.04	1.25	1.02	1.23	1.01	1.21

2.「月2回土日完全週休2日制工事(受注者希望型)」特記仕様書

1 月2回土日完全週休2日制の定義

工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ決めた月2回の土曜日を現場閉所日※2とする。

- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、 現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

2 受注者は月2回土日完全週休2日制を実施するか否かについて、契約後1 0日以内に様式1を作成し、監督員へ提出する。また、実施する場合は、土曜日を閉所する週を様式1に併せて記入し報告すること。

なお、あらかじめ決めた土曜日を閉所する週を変更する場合は、事前に監督 員に報告すること。

- 3 一つの工事現場において分離発注工事がある場合、受注者は全体の工程に 遅延が生じないよう各工事間の調整を適切に行うこと。
- 4 受注者は、月1回、工事現場の閉所状況を監督員に報告すること。

5 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした以下の補正係数を乗じた労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、現場閉所率に応じて以下の補正係数を乗じた補正分に変更する。4週6休未満(現場閉所日数/対象期間日数=21.4%未満)の場合は補正分を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天 (降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

「補正係数」

【4週8休以上】

(現場閉所日数/対象期間日数:28.5%以上)

· 労務費 : 1.05

【4週7休】

(現場閉所日数/対象期間日数:25%以上28.5%未満)

· 労務費 : 1. 03

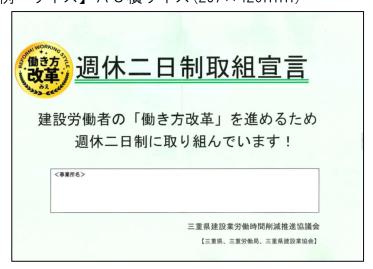
【4週6休】

(現場閉所日数/対象期間日数:21.4%以上25%未満)

· 労務費 : 1. 0 1

- 6 試行工事の検証を行うため、受注者(下請負者を含む)は、完成報告書提出日までに別に定めるアンケートに回答し提出すること。
- 7 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」[※]が配付する「週休二日制取組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。
 - 【配付先】厚生労働省三重労働局労働基準部監督課、若しくは、三重県建設業協会本部及び各支部

【掲示の例・サイズ】A3横サイズ(297×420mm)



※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

様式1

月2回土日完全週休2日制工事(受注者希望型)

月2回土日完全週休2日の実施について

以下のいずれかを■にしてください。 □: 当社は月2回土日完全週休2日を実施します。 月2回、土曜日に現場閉所する週を □「第1、3週」 □「第2、4週」 □ 第
□: 当社は以下の理由により、月2回土日完全週休2日を実施しません。
(実施しない場合、該当する理由を■にしてください。複数回答可) □工程管理が困難となるから(天候不順など不確定な要素を除く) □天候不順など不確定な要素があることで工程管理が困難となるから □日給月給制の従業員が多く、月当たりの賃金が低くなるから □当社の休暇制度と合わないから □下請業者との調整が困難となるから □他工事との調整が困難となるから □その他 (
<u>令和 年 月 日</u>
工事名
<u>会社名</u>
現場代理人
※4週8休かつ指定土日が現場閉所出来ない場合は工事成績点の加点無し。

※土日にかかわらず、4週8休の達成が出来ない場合は、経費等を達成状況に

応じて変更する。

『月2回土日完全週休2日制試行工事』 アンケート 建設業界では、若手技術者の確保・育成を中心とした将来の担い手確保が重要な課題と なっており、建設現場における労働環境の改善が求められています。 このため、土曜日及び日曜日を休日とする取組を試行的に行うことにより、工期設定の 検証や週休2日の普及に向けた効果、課題を把握したいと考えています。 つきましては、受注者(下請負者を含む)の方を対象としたアンケートにご協力をお願 いします。 《元請負者の主任(監理)技術者、現場代理人、技能労働者、作業員並びに下請業者の主 任技術者、現場代理人、技能労働者、作業員に回答をお願いします。≫ Q1 Q2 所属会社名 Q3 所属会社の元請け・下請けの別 元精 一次下槽 二次以降下請 Q4 技術者等の区分 整理技術者 □ 主任技術者 □ 現場代理人 ■ 技能労働者 □ 作業員 Q5ご年齢 Q6 どのような給与体系ですか? 」 月給 日給月給 日報 □ その他 (その他の内容をご記入ください)

Q7	所属会社の休日は次のいずれに該当しますか?
Q8	現場に勤務した作業期間 (工期ではありません)
Q9	Q8のうち、実際に休めた土日の日数 日
Q10	Q8のうち、実際に休めた平日の日数 日
Q11	試行工事では、当初の予定どおり、土日に現場を休工とすることができましたか? 」 予定どめ、土日現場を休工できなかった →Q12へ □ 予定どめ、土日現場を休工できた →Q13へ
Q12	予定どおり、土日に現場を休工できなかった理由をお選び下さい。 (複数回答可)
Q13	試行工事期間中、現場を休工とした土日は、実際に会社を休むことができましたか? □ ±日は会社をすべて体めた →Q14へ □ ±日は会社を体めなかった →Q15へ

Q14	試行工事期間中、現場だけでなく、土日に会社を休めた理由をご記入ください。
Q15	試行工事期間中、現場は休工できたが、土日に会社を休めなかった理由をご記入ください。 ■ 原天体による第三者被害物止のための対応が必要となった ● 他の現場に従事した ■ 書類整理等の内質をした □ 会社が選体2日でないため ■ その他 (その他の内容をご記入ください)
Q16	月2回土日完全選休2日を確保するため、現場で取り組まれたことはありますか? (複数回答可) 「早出や残棄により、日当り施工量を高めた 「機械化を進め、作業効率を高めた 「作業手順を見慮して、作業効率を高めた 「人員配信を見慮して、日当り施工量を高めた 「特になし 」その他 (その他の内容をご記入ください)
Q17	月2回土日完全選休2日のメリットとデメリットを考えたときにその割合を 5段階で評価してください。

Q18	どのようなメリットがありましたか? (複数回答可) 次に、選んだ項目について、右枠にメリットの大きい項目順に、順位を記入して ください。
Q19	どのようなデメリットがありましたか? (複数回答可) 次に、選んだ項目について、右枠にデメリットの大きい項目順に、順位を記入し てください。 「作業効率が下がった・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	(その他、感じたことなどをご自由にご配入ください)

Q20	月2回土日完全選休2日の取組に対して、現場周辺の反応にはどのようなものがありましたか? (複数回答可) (中日に工事がないこが、現場周辺住民に好評であった 工期が長引き、現場周辺住民に不評であった 反応はなかった その他 (その他の内容をご記入ください)
Q21	月2回土日完全遺休2日を確保することによって、若手技術者の入職者数は どうなると思われますか? ことでも増える 単れる まわらない 減る ことでも減る
Q22	建設環場における、土日完全選休2日の取得に向けた取り組みについて、 貴方のお考えをお聞かせください。(複数回答可)

Q23	今後、建設現場において土日完全週休2日の取得を普及させるためには、何が必要だと思いますか?(複数回答可) 」 適切な工制設定 「発注者の損導 」 監督員の意識改革 「会社の休暇・休日制度の変更 」 給料など収入面の保証 「建設資協会等による管及活動 」 その他(特に発注者が他の組む必要があると考えることについてご意見ください。他の股階の回答と重複可) (その他の内容をご記入ください)
Q24	建設業の将来を担う若者が入職・定 しつすい職場づくりには 何が必要と思いますか? (複数回答可)

≪22	からの質問については、元請集者の主任(監理)技術者のみ回答をお願いします。≫
Q25	月2回土日完全遺休2日を確保するうえで、今の工期設定について どう思われますか? □ 充分な工期設定であった □ ちょびよかった □ 別かった →Q26へ
Q26	不足日数はどのくらいですか? 不足日数 日 また、原因をお聞かせください。
	(原因をご配入ください)
Q27	月2回土日完全選休2日の取得について、工事成績評定での評価対象と した方がいいですか? □ おと思う → Q29へ □ おと思わない (上記の理由をご記入ください)
Q28	100点の満点に対して、何点ぐらいを評価するのが適切だと思われますか?
	(その他の内容がございましたらご記入ください)

Q29	月2回土日完全選休2日の取得について、総合評価での加点対象とした方が よいと思いますか? □ よいと思う →Q31へ □ よいと思わない (短用をご記入ください)
Q30	100点の満点に対して、何点ぐらいを評価するのが適切だと思われますか?
Q31	今回の現場での若手技術者の状況についてお聞かせください。 □ とても多い □ 多い □ 少ない □ とても少ない □ 若手技術者がいない
Q32	その他、『月2回土日完全遺体2日制試行工事』に関するご意見、ご要望等があればご記入ください。 (連曲をご記入ください)
	~ご協力ありがとうございました~

【参考】経費補正の考え方

				P#		34	実績	1 3	空 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	**	/	17/14年9月	2		3	共績	‡ 34	맫	1.	/	令和4年8月			类额		聖國		/	令和4年7月	備老	実績	* 3	計画	/		令和4年6月	ы			
建成十定率	44	勝所予定日数	対象予定日数	製画時の報画		D TATES	対象日	_	-	# ## O ::	/ *	1 2	ì		1	理が見り	_			D 1-	毎月第			閉所日	対象日〇	\rightarrow	学品	<i> </i> ⇒ □	毎月第		閉所日	## 3 ## 1	対象ローを	; /	1	毎月第	工事開始日	H 猫	H 半 名	
H AN	1 1	世数	型数	540	海 端		0	1	())	H 4	2 3 4)) >	ψ	第 2・4	A	罪	•	_	•	0	2 3 4 + H H	2					* *		第 2・4	令和4年6月9日	令和4		-
28.9%	20 00/	24	83			•	0)	0	o :	⊞ «	5 H			,	• 0		0) H	5	4 +				0		0 :	÷ 55	H 200					日月		超田		令和4年6月9日		
H _C	£ 22.5	類用	対線	料理		ł	0		(Э :		7 8 9		州	茶()]	00		H	推	•	0		0 1	* 7 * 8 + 9			-	¥	- Take	火 失 *	7 8 9		完成報告提出日	}		+
1 m by 200	1 1	関所日数	対象日数	要更契約時の確認	描版	•	あって		• ())	□ ;	10 11 1				20	ni ni)4I)4I	H >	10 11		H	描	•	0	•	0 :	10 11 B A				※	· ·	十	10 11			令系		
3	20.20	25	78		職 獅		C in		())	× 5	12 13 14		用 i	#) () (Н	13 14					0		0 .	12 13 14 * * * *			1	新	特	月火	13 14		令和4年9月19日	令和4年9月21日		
438967	0.00	4週7休	4週8休	(徐			가 가	t	_	平月	i⇒ 5	15 16 17			ľ	• 0			>	16		A	#	•	0 0		0 1	15 16 17			-	難 難 難	計	*	15 16 17		9 🗏	Ш		+
		\perp	体 28.5%以上	参末) 器器補圧基準	民 振		과	t	2	파 I 파 :	В 8	18 19			1	()	C))	18 19				•	0	0	0 :	18 19 # *			1	維維	计	H III	18 19			現場代理人	請負業者名	
/ 4% 12 下/500 %米油	A L DE DO	25.0%以上28.5%未満	交上	# F		t			_	非	; ;	20 21 22		神音	拼 (• (0	C)]	21 22					0		0 1	20 21 22 * * *			0))	C) ½) ½	20 21 22			型人	地	+
光経	+ 1	米				ł		+	+	1	Д.	23 24 25				ē	4) >	24			推	•		•	0	23 24 25 + H H		油油	(Э	0 0	胎	23 24 25					+
4 30 4			開開	完成(İ		‡		- 1	; k	26 27		i in		• 0		0) H	26 27					% %		0 :	26 27 * *		推断	• ())	• C	B Я	26 27					
4 地×分×地下	+		関所指定土日がすべて関所	完成(検査) 時の確認		l					+ 5	28 29 30		用 i	it ())]	29 30				•	0		0 1	28 29 30)))	C) ;	28 29 30					
			一人て関所	幣		+			_	14	日葵					2 00	-		+	日数		M	描	10	29	9	31	31 日数			_	10	ω 10		- W.H.					T
C)	- 1	o **		推匪		33.3% 書		28.6% 趣	半	関所率			38 1	市	29.6% 他	# 1	28.6%	ii	閉所率		31	描	34.3% 他		29.0% 健	_	閉所率		遊籃	30.0% 他	H	30.0% 艇	_	調品級		О	Я	+	VIBIOSE C/Grd
			※指定日を振替て閉所している場合を含む		指定や現場所所指定日、振贄や指定日の振替日間地や工事開始日、完成や完成報告書提出日		事↑一事事故寺による小家穂居同、汉↑大汉に対する米光門な対応徽国名↑やの名、學注者の者によらない作業、●↑国所田	A LOCAL TO THE TAXABLE STATE OF THE PROPERTY OF THE TAXABLE STATE OF TAXABL	製←工場製作期間、○←対象期間、●←閉所指定土日、○←閉所予定日	準々準備期間、片々後片付期間、夏々夏休み期間、年々年末年始休み期間	盆水			開始《工事開始日、完成《完成報告書提出日	依存了苗市国家依存日 情缘个依存日乡情缘日	他々その他、受注者の責によらない作業、●々閉所日	重く工事重故第7-トス不動働組間 ※~〒※7-サオス安泰的た対応機関	是个一种超光理器 ○个对象型图 ●个规范处理区、并个并来并指示处理区域个一种超光理器 ○个对象型图 ●个规范站记十四 ○个规范表记记	1. 李····································	童 兆		開始年工事開始日、完成年完成報告書提出日	治定 ← 現場閉所指定日、振替 ← 指定日の振替日	他々その他、受注者の責によらない作業、●←閉所日	事~工事事故等による不稼働期間、災~天災に対する突発的な対応機関	製≪工場製作期間、○≪対象期間、●≪閉所指定土日、○≪閉所予定日	準←準備期間、片←後片付期間、夏←夏休み期間、年←年末年始休み期間	畲悉		指定 < 現場閉所指定日、振替 < 指定日の振替日 開始 < 工事開始日、完成 < 完成報告書提出日	他々その他、受注者の責によらない作業、●々閉所日	書←工事書故等による不機像期間、※←天災に対する安徽的な対応機関	年で非確認し、イキ教代も返回、奥中國等を返回、年年年末年後等を返回製金工場製作日総製作選回、○全対象選回、●全国所指於十日、○全国所予院日	20 Ann and 10 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	李鹏		月二回土日完全週休二日制工事(受注者希望型)	月二回土日完全週休二日制工事(発注者指定型)	十日宗全调休二日制(発注者指定型)	(中部的の 独語 阿賀の 宝 への土 争を対象で申 月系21番日を一斉 久土日 29 る及
							他的 在对心德国、	MI 607 7 7 7 7 7 8	○←開所予定田	F末年始休み期間、						and the second second	されたなけた場間	- 1年 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	E + 624444 7, HS IIII						管的な対応機関、	○⇔開所予定日	事業年始休み期間、					き的な対応機関.	#米半路>→原用。 ○◆原用予定日							41水上日とり Sulx

第3編 港湾等工事編 (積算基準(港湾関係)適用工事)

1. 月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな 課題となっている。このため、週休2日(4週8休)の普及に向けて月 2回土日完全週休2日制工事を試行する。

(月2回土日完全週休2日制の定義)

- 第2条 工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ 決めた月2回の土曜日(以下、指定土日とする。)を現場閉所日※2と する。
- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との 協議により休日を別の日への振替可能とする。

(対象工事)

- 第3条 月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)の試行は、積算基準(港湾関係編)を用いて積算する土木一式工事の案件を対象とする。 ただし、以下の案件については対象外とする。
 - ① 契約工期が30日未満の工事
 - ② 現場閉所困難な工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、月2回土日完全週休2日制工事(発注 者指定型)である旨を明示する。また、必要な事項について、特記仕様 書に定める。

(経費の計上)

第5条 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械賃料)、共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するとともに、標準単価については、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒 天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

(工事成績評定における評価)

第6条 指定土日を現場閉所し、かつ、4週8休以上の現場閉所が達成できた場合、工事成績採点表 創意工夫の評価(監督員)における【働き方改革】において加点評価する。

なお、指定土日の現場閉所、4週8休以上の現場閉所の両方または一 方が達成出来なかった場合でも、工事成績評定の減点は行わない。

(その他)

第7条 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」[※]が配付する「週休二日制取組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。 なお、掲示例等詳細については、別途、特記仕様書に定める。

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

附則 この要領は、令和3年10月1日から施行する。

附則 この要領は、令和4年 6月1日から施行する。

【別紙1 補正係数】

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04 · 共通仮設費率 : 1. 02 · 現場管理費率 : 1. 03

市場単価の経費補正については下記の補正係数を乗じる。

		市場単価 補正係数
1	底面工	1.04
2	マットエ(アスファルトマット設置・ゴム系マット設置)	1.01
3	支保工	1.05
4	足場工	1.03
5	鉄筋工	1,05
6	吊鉄筋工	1.05
7	型枠工	1.04
8	コンクリート打設工(ポンプ車打設)	1.05
	コンクリート打設工(ポンプ車打設以外)	1.05
9	止水板工	1.05
10	上蓋工	1.05
11	伸縮目地工.	1.03
12	係船柱取付	1,05
13	防舷材取付	1.05
14	車止•緣金物取付	1.05
15	係船柱撤去	1.05
16	防舷材撤去	1.05
17	車止撤去	1.05
18	電気防食取付	1.05
19	防砂目地板取付工(陸上施工)	1.05
20	防砂目地板取付工(水中施工)	1.04
21	吸出し防止工(陸上施工・海上施工)	1,04
22	港湾構造物塗装工(係船柱・車止・縁金物)	1.04
23	ペトロラタム被覆	1.05
24	現場鋼材溶接・切断工(陸上施工・海上施工)	1.05
25	現場鋼材溶接・切断工(水中施工)	1.05
26	かき落とし工	1.05
27	汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.04
28	汚濁防止枠設置・撤去	1.03
29	灯浮標設置·撤去	1,04
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船あり・水中目視点検)	1.01
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船なし)	1.05
31	異形ブロック製作 型枠工	1.05
٦١	異形ブロック製作 コンクリート打設工	1.05

2.「月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)」特記仕様書

1 月2回土日完全週休2日制の定義

工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ決めた月2回の土曜日を現場閉所日※2とする。

- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

- 2 受注者は、契約後10日以内に、土曜日を閉所する週を様式1にて、監督員へ報告すること。また、あらかじめ決めた土曜日を閉所する週を変更する場合は、事前に監督員に報告すること。
- 3 受注者は、契約当初に工期延長が必要となる場合は、実施工程表(任意様式)を提出し、監督員と協議のうえ、契約書第21条の規定による工期の延長変更を請求することができる。
- 4 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。

5 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上 (現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正 係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械賃料)、 共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するとともに、標準単価 については、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天 (降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

【別紙1補正係数】

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04 · 共通仮設費率 : 1. 02 · 現場管理費率 : 1. 03

市場単価の経費補正については下記の補正係数を乗じる。

		市場単価補正係数
1	底面工	1.04
2	マットエ(アスファルトマット設置・ゴム系マット設置)	1.01
3	支保工	1.05
4	足場工	1.03
5	鉄筋工	1,05
6	吊鉄筋工	1.05
7	型枠工	1.04
8	コンクリート打設工(ポンプ車打設)	1.05
	コンクリート打設工(ポンプ車打設以外)	1.05
9	止水板工	1.05
10	上蓋工	1.05
11	伸縮目地工	1.03
12	係船柱取付	1,05
13	防舷材取付	1.05
14	車止•緣金物取付	1.05
15	係船柱撤去	1.05
16	防舷材撤去	1.05
17	車止撤去	1.05
18	電気防食取付	1.05
19	防砂目地板取付工(陸上施工)	1.05
20	防砂目地板取付工(水中施工)	1.04
21	吸出し防止工(陸上施工・海上施工)	1,04
22	港湾構造物塗装工(係船柱·車止·縁金物)	1.04
23	ペトロラタム被覆	1.05
24	現場鋼材溶接・切断工(陸上施工・海上施工)	1.05
25	現場鋼材溶接・切断工(水中施工)	1.05
26	かき落とし工	1.05
27	汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.04
28	汚濁防止枠設置·撤去	1.03
29	灯浮標設置·撤去	1,04
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船あり・水中目視点検)	1.01
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船なし)	1.05
31	異形ブロック製作 型枠工	1.05
٥١	異形ブロック製作 コンクリート打設工	1.05

5 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」^{*}が配付する「週休二日制取組 宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。

【配付先】厚生労働省三重労働局労働基準部監督課、若しくは、三重県建設 業協会本部及び各支部

【掲示の例・サイズ】A3横サイズ(297×420mm)

改革 週 亿	<u> </u>
7—1277	の「働き方改革」を進めるため 1日制に取り組んでいます!
《事業所名》	三重県建設業労働時間削減推進協議会 【三重県、三重労働局、三重県建設業協会】

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

様式1

月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)

月2回土日完全週休2日の指定について

以下のいずれかを■にしてください。 月2回、土曜日に現場閉所する週を □「第1、3週」 □「第2、4週」 □ 第 週」 とします。				
	<u>令和</u>	年	月	日
工事名				
会社名				
現場代理人				

- ※4週8休かつ指定土日が現場閉所出来ない場合は工事成績点の加点無し。
- ※土日にかかわらず、4週8休の達成が出来ない場合は経費等を減額する。

3. 「月2回土日完全週休2日制工事(受注者希望型)」試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな 課題となっている。このため、週休2日(4週8休)の普及に向けて月 2回土日完全週休2日制工事を試行する。

(月2回土日完全调休2日制の定義)

- 第2条 工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ決めた月2回の土曜日(以下、指定土日とする。)を現場閉所日※2とする。
- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

(対象工事)

第3条 すべての案件を対象とする。 ただし、以下の案件については対象外とする

- ① 契約工期が30日未満の工事
- ② 現場閉所困難な工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、月2回土日完全週休2日制工事(受注 者希望型)である旨を明示する。また、必要な事項について、特記仕様 書に定める。

(経費の計上)

第5条 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械賃料)、共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するとともに、標準単価については、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒 天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

(工事成績評定における評価)

第6条 指定土日を現場閉所し、かつ、4週8休以上の現場閉所が達成できた場合、工事成績採点表 創意工夫の評価(監督員)における【働き方改革】において加点評価する。

なお、指定土日の現場閉所、4週8休以上の現場閉所の両方または一 方が達成出来なかった場合でも、工事成績評定の減点は行わない。

(その他)

- 第7条 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」※が配付する「週休二日制取組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。 なお、掲示例等詳細については、別途、特記仕様書に定める。
 - ※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年 (2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。
- 附則 この要領は、令和3年10月1日から施行する。
- 附則 この要領は、令和4年 6月1日から施行する。

【別紙1 補正係数】

【4週8休以上】

(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04

· 共通仮設費率 : 1. 02 · 現場管理費率 : 1. 03

市場単価の経費補正については下記の補正係数を乗じる。

la est. Alta e Alta e		市場単価補正係数
1	底面工	1.04
2	マットエ(アスファルトマット設置・ゴム系マット設置)	1.01
3	支保工	1.05
4	足場工	1.03
5	鉄筋工	1,05
6	吊鉄筋工	1.05
7	型枠工	1.04
8	コンクリート打設工(ポンプ車打設)	1.05
_ °	コンクリート打設工(ポンプ車打設以外)	1.05
9	上水板工	1.05
10	上蓋工	1.05
11	伸縮目地工	1.03
12	係船柱取付	1,05
13	防舷材取付	1.05
14	車止·緣金物取付	1.05
15	係船柱撤去	1.05
16	防舷材撤去	1.05
17	車止撤去	1.05
18	電気防食取付	1.05
19	防砂目地板取付工(陸上施工)	1.05
20	防砂目地板取付工(水中施工)	1.04
21	吸出し防止工(陸上施工・海上施工)	1,04
22	港湾構造物塗装工(係船柱·車止·縁金物)	1.04
23	ペトロラタム被覆	1.05
24	現場鋼材溶接・切断工(陸上施工・海上施工)	1.05
25	現場鋼材溶接・切断工(水中施工)	1.05
26	かき落とし工	1.05
27	汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.04
28	汚濁防止枠設置・撤去	1.03
29	灯浮標設置·撤去	1,04
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船あり・水中目視点検)	1.01
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船なし)	1.05
31	異形ブロック製作 型枠工	1.05
٦١	異形ブロック製作 コンクリート打設工	1.05

4.「月2回土日完全週休2日制工事(受注者希望型)」特記仕様書

1 月2回土日完全週休2日制の定義

工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ決めた月2回の土曜日を現場閉所日※2とする。

- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇 (6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、 「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「そ の他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象 期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との 協議により休日を別の日への振替可能とする。

2 受注者は月2回土日完全週休2日制を実施するか否かについて、契約後1 0日以内に様式1にて、監督員へ報告する。また、実施する場合は、土曜日 を閉所する週を様式1に併せて記入し報告すること。

なお、あらかじめ決めた土曜日を閉所する週を変更する場合は、事前に監督員に報告すること。

- 3 受注者は、契約当初に工期延長が必要となる場合は、実施工程表(任意様式)を提出し、監督員と協議のうえ、契約書第21条の規定による工期の延長変更を請求することができる。
- 4 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。

5 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上 (現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした 補正係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械 賃料)、共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するととも に、標準単価については、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。 なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所 日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を 減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

【別紙1 補正係数】

【4週8休以上】

(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04

· 共通仮設費率 : 1. 02 · 現場管理費率 : 1. 03

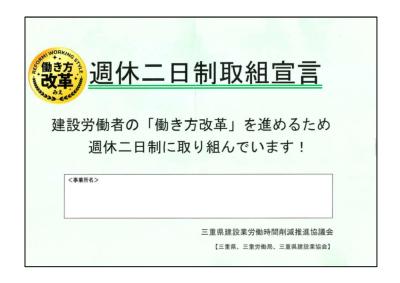
市場単価の経費補正については下記の補正係数を乗じる。

		市場単価 補正係数
1	底面工	1.04
2	マットエ(アスファルトマット設置・ゴム系マット設置)	1.01
3	支保工	1.05
4	足場工	1.03
5	鉄筋工	1,05
6	吊鉄筋工	1.05
7	型枠工	1.04
8	コンクリート打設工(ポンプ車打設)	1.05
L°.	コンクリート打設工(ポンプ車打設以外)	1.05
9	止水板工	1.05
10	上蓋工	1.05
11	伸縮目地工	1.03
12	係船柱取付	1,05
13	防舷材取付	1.05
14	車止・縁金物取付	1.05
15	係船柱撤去	1.05
16	防舷材撤去	1.05
17	車止撤去	1.05
18	電気防食取付	1.05
19	防砂目地板取付工(陸上施工)	1.05
20	防砂目地板取付工(水中施工)	1.04
21	吸出し防止工(陸上施工・海上施工)	1,04
22	港湾構造物塗装工(係船柱·車止·縁金物)	1.04
23	ペトロラタム被覆	1.05
24	現場鋼材溶接・切断工(陸上施工・海上施工)	1.05
25	現場鋼材溶接・切断工(水中施工)	1.05
26	かき落としエ	1.05
27	汚濁防止膜設置·撤去·移設	1.04
28	汚濁防止枠設置・撤去	1.03
29	灯浮標設置·撤去	1.04
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船あり・水中目視点検)	1.01
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船なし)	1.05
31	異形ブロック製作 型枠工	1.05
٦١	異形ブロック製作 コンクリート打設工	1.05

6 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」※が配付する「週休二日制取組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。

【配付先】厚生労働省三重労働局労働基準部監督課、若しくは、三重県建設業協会本部及び各支部

【掲示の例・サイズ】A3横サイズ(297×420mm)



※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

様式1

月2回土日完全週休2日制工事(受注者希望型_港湾)

月2回土日完全週休2日の実施について

<u>以下のいずれかを■にしてください。</u>
□:当社は月2回土日完全週休2日を実施します。
月2回、土曜日に現場閉所する週を
□「第1、3週」
□「第2、4週」
□ 第、週」 とします。
□:当社は以下の理由により、月2回土日完全週休2日を実施しません。
(実施しない場合、該当する理由を■にしてください。複数回答可)
<u> </u>
□天候不順など不確定な要素があることで工程管理が困難となるから
口日給月給制の従業員が多く、月当たりの賃金が低くなるから
□工期が延びることから工事経費が通常の工事より多く必要となるから
口当社の休暇制度と合わないから
口下請業者との調整が困難となるから
□他工事との調整が困難となるから
口その他
(
<u>令和 年 月 日</u>
工事名
<u>会社名</u>
□ 世 /
現場代理人

※4週8休かつ指定土日が現場閉所出来ない場合は工事成績点の加点無し。 ※土日にかかわらず、4週8休の達成が出来ない場合は経費等を減額する。

5.「土日完全週休2日制工事(発注者指定型)」試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな 課題となっている。このため、週休2日(4週8休)の普及に向けて土 日完全週休2日制工事を試行する。

(土日完全週休2日制の定義)

- 第2条 工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、 原則、すべての土曜日及び日曜日を現場閉所日※2とする。
- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇 (6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、 「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「そ の他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象 期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

(対象工事)

- 第3条 発注者が必要とする案件を対象とする。ただし、以下の案件について は対象外とする。
 - ① 契約工期が30日未満の工事
 - ② 現場閉所困難な工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、土日完全週休2日制工事(発注者指定型) である旨を明示する。また、必要な事項について、特記仕様書に定める。

(経費の計上)

第5条 土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上 (現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした 補正係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械 賃料)、共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するととも に、標準単価については、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。 なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所 日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を 減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒 天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

(工事成績評定における評価)

第6条 土日完全週休2日を実施し、かつ、4週8休以上の現場閉所が達成できた場合、工事成績採点表 創意工夫の評価(監督員)における【働き方改革】において加点評価する。

なお、土日完全週休2日、4週8休以上の現場閉所の両方または一方 が達成出来なかった場合でも、工事成績評定の減点は行わない。

(その他)

第7条 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」※が配付する「週休二日制取 組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。なお、 掲示例等詳細については、別途、特記仕様書に定める。

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年 (2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

附則 この要領は、令和3年10月1日から施行する。

附則 この要領は、令和3年 6月1日から施行する。

【別紙1 補正係数】

・労務費 : 1. 05・機械経費(賃料): 1. 04・共通仮設費率 : 1. 02・現場管理費率 : 1. 03

市場単価の経費補正については下記の補正係数を乗じる。

		市場単価補正係数
1	底面工	1.04
2	マットエ(アスファルトマット設置・ゴム系マット設置)	1.01
3	支保工	1.05
4	足場工	1.03
5	鉄筋工.	1,05
6	吊鉄筋工	1.05
7	型枠工	1.04
8	コンクリート打設工(ポンプ車打設)	1.05
8	コンクリート打設工(ポンプ車打設以外)	1.05
9	止水板工	1.05
10	上蓋工	1.05
11	伸縮目地工	1.03
12	係船柱取付	1,05
13	防舷材取付	1.05
14	車止·緣金物取付	1.05
15	係船柱撤去	1.05
16	防舷材撤去	1.05
17	車止撤去	1.05
18	電気防食取付	1.05
19	防砂目地板取付工(陸上施工)	1.05
20	防砂目地板取付工(水中施工)	1.04
21	吸出し防止工(陸上施工・海上施工)	1.04
22	港湾構造物塗装工(係船柱·車止·縁金物)	1.04
23	ペトロラタム被覆	1.05
24	現場鋼材溶接・切断工(陸上施工・海上施工)	1.05
25	現場鋼材溶接・切断工(水中施工)	1.05
26	かき落とし工	1.05
27	汚濁防止膜設置·撤去·移設	1.04
28	汚濁防止枠設置·撤去	1.03
29	灯浮標設置·撤去	1,04
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船あり・水中目視点検)	1.01
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船なし)	1.05
31	異形ブロック製作 型枠工	1.05
۱۵	異形ブロック製作 コンクリート打設工	1.05

6.「土日完全週休2日制工事(発注者指定型)」特記仕様書

1 土日完全週休2日制の定義

工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原 則、すべての土曜日及び日曜日を現場閉所日※2とする。

- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

- 2 受注者は、契約当初に工期延長が必要となる場合は、実施工程表(任意様式)を提出し、監督員と協議のうえ、契約書第21条の規定による工期の延長変更を請求することができる。
- 3 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。
- 4 土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上(現場 閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正係数 (別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械賃料)、共通 仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するとともに、標準単価につい ては、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天 (降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

【別紙1 補正係数】

労務費・機械経費(賃料): 1. 04・共通仮設費率・現場管理費率:1. 03

市場単価の経費補正については下記の補正係数を乗じる。

		市場単価補正係数
1	底面工	1.04
2	マットエ(アスファルトマット設置・ゴム系マット設置)	1.01
3	支保工	1.05
4	足場工	1.03
5	鉄筋工	1,05
6	吊鉄筋工	1.05
7	型枠工	1.04
8	コンクリート打設工(ポンプ車打設)	1.05
· ·	コンクリート打設工(ポンプ車打設以外)	1.05
9	止水板工	1.05
10	上蓋工	1.05
11	伸縮目地工	1.03
12	係船柱取付	1,05
13	防舷材取付	1.05
14	車止·緣金物取付	1.05
15	係船柱撤去	1.05
16	防舷材撤去	1.05
17	車止撤去	1.05
18	電気防食取付	1.05
19	防砂目地板取付工(陸上施工)	1.05
20	防砂目地板取付工(水中施工)	1.04
21	吸出し防止工(陸上施工・海上施工)	1,04
22	港湾構造物塗装工(係船柱·車止·縁金物)	1.04
23	ペトロラタム被覆	1.05
24	現場鋼材溶接・切断工(陸上施工・海上施工)	1.05
25	現場鋼材溶接・切断工(水中施工)	1.05
26	かき落とし工	1.05
27	汚濁防止膜設置·撤去·移設	1.04
28	汚濁防止枠設置·撤去	1.03
29	灯浮標設置·撤去	1,04
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船あり・水中目視点検)	1.01
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船なし)	1.05
31	異形ブロック製作 型枠工	1.05
31	異形ブロック製作 コンクリート打設工	1.05

【参考】経費補正の考え方

						実績		單圖		令和4年9月		天颜		III		/	令和4年8月			実績	H			令和4年7月	備考			<u>B</u>		/	令和4年6月				週休2日制
60日本日前	閉所予定日数	対象予定日数	計画時の確認		N/G	対象日の	閉所日	対象日〇	*	毎月		閉所日	対象日〇	閉所日	対象日 〇	/ Л	4 4		別州日	対象日〇	閉所日	対象日〇	₩ -	. 御		閉所日	対象日	閉所日	対象日	<u> </u>	毎月	工事開始日	工期	上事名	制工事 確
1007	定日数	E日数	888			0		0	計	月第 2・			0		0 0	火 火 火	┪	间 讃	•	0	•	0	H 2							2末の金	# د		令		確認表
28.9%	24	83		用苗	†		0	-	日月火	4 土曜日		•	0	0	0 0 0	* 4	n 上 編		ŀ	0	0	0	月 火 火 火	4 土曜						H #		令和4年6月9日	令和4年6月9日		
達成率			灣		ļ	0		0	⅓	7 8	冲 苯	•	0	•	0 0	土 日 月	7			0		0	× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×							ル シ ・ ・ ・	1	完成報			
達成率	閉所日数	対象日数	変更契約時の確認	A a	-	()	•	_	計	9 10					〇 夏		10	 計 計	-	0	•	0	H 9		裕 理		華		番	* 4 (4)	5	完成報告提出日	`		
32.1%	25	78		百分数数	+		•	0	日月火	11 12 13	沿 誰	•	夏夏〇	•	夏夏〇	* E	3			0		0	月 12	:			単 準			土 日 月	5	令和44	令和4年9月21日		
32.1%						구		〇 汗	*	14 15	海海	-	0	•	0	日 月	14		ŀ	0		0	* 14 (h) 15	:			華		東	½ t	1	令和4年9月19日	月21日		
4週6休	4週7休	4週8休	(参考) 経費補正基準			가 가		가 가	+	16 17 18			0	0	0 0	火 サ オ お	17	计量	•	0	•	0	土 日 月	i			東東		東東	* Lo Li Lo	1 7				
21.4%以上	25.0%以	28.5%以上	養補正基準	民級	1}	汗		가 가	Э	8 19 20			0		0	か 士	10			0		0	大 20				準準			日 日 月	3		現場代理人	請負業者名	
21.4%以上25.0%未満	25.0%以上28.5%未満	-			+			干	ж + п	21 22 23	沿 蓝	•	0 0	•	0 0 0	日 月 火	သ သ	計 計		0	•	0	* L	3		•	0 0	0		2 火 2 火 3 米 3 米	3				
謝	満				ļ				月火	24 25			(有)		0 0	* 5	ა >		+	+	•	_	3 24 25	2	沿 爺	•	0	•	0 0	27 4	2				
4 3 8		閉所打	完成(4		ļ				* * *	26 27 28	活流	•	0	•	0 0 0	金土田	27			% % O		0	25 25 25 25 25 26 27 27 28 28 28 28 28 28 28 28 28 28 28 28 28		沿 蓝	•	0	•		日月火	7				
4週8休を達成		別所指定土日がすべて閉所	完成(検査) 時の確認						H H	8 29 30	Lil mit		0		0	日月火	၁ ဂ		•	_			* 28	3			0		0		3				
		すべて閉所	階認		1	12	4	14	I	II		∞	O 27	8	O 28	· · · · · · · · · · · · · ·	2	計量	TO TO	+	9	O 31	田 31	2		ω	10	3	10	田葵					0 1 ##
0		0				33.3%	_	28.6%		型別		23.0%		20.0.0		閉所率				34.5%	29.0%		閉所率			_	30.0%	30.0.0		閉所率		0			んなかホリ 部地方整備
		※指定日を振替て閉所している場合を含む		指定卡班場即所指定口、聚替卡指定口心探查日期给卡工事開始日、完成卡完成報告書提出日		事◆工事事故等による不稼働期間、災◆天災に対する突発的な対応機関、他◆その他、受注者の責によらない作業、●◆閉所日	数11—8数15克1回、○128克0回、●1克5万台在11日、○1克5万方在1			· 李 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	指定《現場閉所指定日、振替《指定日の振替日開始《工事開始日、完成《完成報告書提出日	他々その他、受注者の責によらない作業、●々閉所日	事々工事事故等による不稼働期間、災々天災に対する突発的な対応機関、	製←工場製作期間、○←対象期間、●←閉所指定土日、○←閉所予定日	準~準備期間、片~後片付期間、夏~夏休み期間、年~年末年始休み期間、	備考		指定◆現場閉所指定日、振管◆指定日の振管日開始◆工事開始日、完成◆完成報告書提出日) 	事◆工事事故等による不稼働期間、災◆天災に対する災発的な対応機関、年本が合金・単注まら事によられて作業・●・開発ロ	製◆工場製作期間、○◆対象期間、●◆閉所指定土日、○◆閉所予定日	準←準備期間、片←後片付期間、夏←夏休み期間、年←年末年始休み期間、	備老		指定々現場開所指定日、振替々指定日の振替日 開始々工事開始日、完成々完成報告書提出日	他←その他、受注者の責によらない作業、●←閉所日	事~工事事故等による不稼働期間、災~天災に対する突発的な対応機関、	製≪工場製作期間、○≪対象期間、●≪閉所指定土日、○≪閉所予定日	-後片付期間、夏	備老		二回土日完全週休二日制工	全週休	土日 完全 週休二日制(発注者指定型)	「まんなかホリデー」を推進しています。 (中部地方整備局管内の全ての工事を対象に毎月第2土曜日を一斉休工日とする取